

千葉市議会議員

いわさき 明子
市民の め!



新聞

発行：
市民ネットワーク
ちば わかば事務所
043-284-2339
2018. 10 月

美術館は「こころの避難所」

先日、熊本市現代美術館に視察に行ってきました。中心市街地のビルの3階にあり、周辺環境などは千葉市美術館に似ています。



2016年4月の熊本地震により、展示室や収蔵庫などが使えなくなり、閉館を余儀なくされました。ところが、被災後1週間を過ぎたころから、「美術館はいつ開館しますか?」という問い合わせの電話がかかってくるようになりました。「こんな非常時に美術館を開けている場合ではない」と考えていた職員も、日ごとに増える問い合わせ電話に、「できるだけ早く開館しなければ」と思うようになったそうです。そこで美術館の指定管理者が自ら修繕費用を捻出して、早くも5月には開館のはこびとなりました。

美術館には親子が自由に使える「子育てひろば」を併設しているのですが、開館初日には200人を超える親子連れが利用したとのこと。また来館者のアンケートには「美術館に來られて震災後初めてホッとできた」などうれしいメッセージがたくさん書かれていました。美術館が「こころの避難所」になったのです。

「美術館は地域のためのものだから」とは館長の言葉ですが、ただ美術品を展示してお客を待つだけではない、大切な役割が美術館にはあると再認識できた視察でした。(岩崎明子)